

【授業実践振り返りカード】 8月

学校名	富士見小学校	学年	1 学年
授業者氏名	赤堀万里子		
題材名	「歯ブラシチェックをしよう」		
主 眼<フォーマット>	〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。		
主 眼	王様の歯の磨き方について学んだ子どもたちが、王様の歯を守る歯ブラシはどんなものが良いのかに着目して、「はぶらしをげんきにしよう」のお話を聞いたり、自分の歯ブラシを点検したりすることを通して、自分の使う歯ブラシの衛生や寿命について意識して使おうとする気持ちを培うことができる。		
学習材	（本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等） 「はぶらしをげんきにしよう」のお話 よい歯ブラシ・変えたほうが良い歯ブラシを比較したイラスト（表・裏から見たもの2種類） 毛が広がってしまう原因が書かれているイラスト		
成 果	歯科指導で、王様の歯について「特別な磨き方」で虫歯を予防しようという話を聞いていたので、「はぶらし」が大事だという意識に向くのがスムーズだった。自分の歯ブラシを実際に見て、毛が開いているのか、まっすぐになっているのかを確かめたので、「もう変えなくちゃだな。」と判断することができた。また、保管場所についても給食後に「優しく歯ブラシを洗って、水をとんとんしてきったよ。コップ歯ブラシを窓際に置いたらよく乾くと思うけど、置いてもいいですか。」と実践に移そうとする姿が見られた。（実際は誇りが入るのでいつものように布袋に入れてブラシの部分をコップから出してしまった）		
課 題			

学校名 富士見小	2 学年
授業者氏名 山科美里	
題材名 「歯医者さんは、町のみんなの歯や口を健康にするために、どんなことをしているのだろう。 歯医者さんは、どんな人のために、どんな思いがあるのだろう。」	
主 眼 町探検を続けていく中で町の人々の様々な思いに気づいてきた子ども達が、歯医者さんを探検し、お仕事の秘密を発見したり、歯医者さんの町の人に対する思いを聞いたりすることを通して、どうしてこんな工夫をしているのか考え、歯医者さんは町のみんなの歯や口を健康にするために頑張っていることに気づくことができる。	
学習材 ・清水歯科医院	
成 果 ☐ 「歯医者さんには、どんなものがあるだろう」（予想をしてから見学に行く。） 歯ブラシ、治療する台、歯を抜くはさみ、歯を削る道具、注射 ☐ 「町探検を通して秘密を知り富士見町をもっと好きになろう～清水歯医者さん～」 1・ 歯医者さんのお話・・・どんな人が来ますか。どんなことを大切にしていますか。 2・ 見学・・・診察室、レントゲン、機械や道具、待合室など可能な範囲で見せていただく。＊見学中、それぞれの【①見つけた！】【②なんで？】【③もっと知りたい！】をメモしていく。 ・金歯と銀歯がある。 ・麻酔の注射がかっこよくて怖い ・レントゲン室って別にあるんだ。 ・歯の写真に次の生えてくる歯も見える 3・ 診察体験・・・代表児童が診察台に上がり実際に歯を見てもらう。 歯医者さんは、何を見ているの？どうしてこの道具を使うの？ 4・ 質問タイム・・・見学中の疑問を歯医者さんに質問する。 ・椅子が自動で動くのは誰のため？ ・どうして、手袋をしているの？ ⑤ 歯医者さんの町の人に対する思いを聞く。・・・「どんな人に来てほしいか」「子ども達に大切にしてほしいこと」「歯医者としてうれしい瞬間」「もっとこうなったらいいなと思うこと」など話してもらった。 ・お年寄りこそ、歯周病になりやすい。来てほしいな。 ・実は虫歯や歯周病に気が付いていない人がいる。だから痛くなくても来てほしい ・お父さんの頃から50年も続いている歯医者。町の人々の健康を守っていきたい。 ☐ (帰校後) 発見した歯医者さんの秘密を共有しあい、次の問い「歯医者さんは頑張っているが、それでもまだ困っている人はいないか。」につなげていく予定。	
課 題 歯医者さんのお昼休憩中にお邪魔した。日程調整が必要である。 30 分と少ない時間しかなかったので、事前の打ち合わせを念入りに行う必要がある。 (ねらい・見たいもの・語っていただきたいこと等)	

【授業実践振り返りカード】 8月

学校名 富士見小学校	3 学年
授業者氏名 星野 こず恵	
題材名 「音楽会に向けて、パタカラ体操を見返そう」	
主 眼 音楽会に向けて自分たちの1 学期の歌を振り返り、「もっと大きな声で」「口を大きく響かせて」「言葉をはっきりと」という課題をもった子どもたちが、パタカラ体操の効果に着目し、毎朝行っている自分たちのパタカラ体操の様子と、効果的なパタカラ体操の仕方を比べることを通して、自分たちのパタカラ体操の改善点を見つけ、今後のパタカラ体操に生かそうとすることができる。	
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等） ・効果的な「パタカラ体操」にするための舌の動かし方の図と、その効果を表した画像	
成果 ・毎朝の取り組みがただ歌っているだけになっている様子があったが、具体的なコツや改善点をグループで相談したり、全体で確認したりしたことで、以下のようなコツにまとめ、実践しようとする姿が見られた。 □パ：くちびるをつけてから大きく爆発するように □タ：ベ口を上につけて勢いをつけて □カ：ベ口は舌で奥から前へ □ラ：ベ口を上から下へ巻く感じに ・話し合いの翌朝から、朝の歌の前のパタカラ体操で意識する姿が見られた。 ・「本気のパタカラ体操をしたら、ほっぺが痛い感じがする」発言した児童もいて、普段はそれほど動かしてはいなかったことが実感できた。	
課題 ・パタカラ体操は1 学期から続けてきたが、日が経つとただ歌っているだけになりがち。定期的に隣の子と見合ったり、鏡を見て動きを確認したりするなど、日々の実践をふりかえる場を設けていきたい。	

【授業実践振り返りカード】 8月

学校名 富士見小学校	4 学年
授業者氏名 野田 直美	
題材名 「災害時に歯と口の健康を守るには？ ～避難所生活での口腔ケアを考えよう～」	
主 眼 これまで歯みがきの大切さを学んできた子どもたちが、災害時の口腔ケアに着目し、動画を見ながら、災害時に水や歯ブラシがない際の問題点や少量の水で行える口腔ケアの方法を理解したり体験したりすることを通して、歯と口の健康を守ることが全身の健康につながることを理解するとともに、非常用持ち出し袋に口腔ケアグッズを備えようとするなど、防災意識を高めることができる。	
学習材 ・ 動画「災害時こそ大切！お口のケア①～備えておくこと～」(日本歯科医師会公式チャンネル) ・ 動画「災害時の歯みがき方法」(日本歯科医師会公式チャンネル)	
成 果 ・ 授業の初めに、避難場所で歯みがきをするかどうか子どもたちに尋ねたところ、ニュースなどを通して「災害時は水がとても貴重になる」ということを感じていた子どもたちは、「災害時は歯みがきを我慢した方がいいのでは」と考えていた。しかし、動画の視聴を通して、水不足時でも口腔ケアが必要である理由(誤嚥性肺炎など命に関わるリスクの予防)を正しく認識し、避難所でも歯と口の健康を守ることが全身の健康につながることを理解することができた。 ・ 給食後の少量の水での歯みがき体験(30cc の水での歯みがき・磨いている途中歯ブラシの汚れをティッシュで拭き取る・2～3回に分けて口をゆすぐ)を通して、「工夫すれば少量の水でも歯みがきができる」ことを実感することができた。 ・ 非常持ち出し袋に入れる口腔ケアグッズとして、下の4つの中から2つ選ぶとしたら何を入れるか考える時間をとると、「使い慣れた自分用の歯ブラシ」や「液体歯みがき」など、自分に必要なものを根拠を持って選ぶ姿が見られた。 ①自分に合ったサイズのハブラシ ②ノンアルコールのウェットティッシュ ③液体ハミガキ(洗口液) ④口をふく清潔なハンカチ・ガーゼ ・ 授業後に自宅で唾液腺マッサージを試したり、自主学習で 100 円ショップの防災グッズを調べて家族と一緒に非常持ち出し袋を準備したりするなど、学びが実生活の行動へとつながった。 ＊子どもたちの感想より＊ ・ 家では防災の準備をしていないから、家族に伝えて、万が一のことを考えて準備したい。 ・ 最初は(避難所では)歯みがきをしないと思っていたけれど、命に関わる病気にかかってしまうことがあるから、災害が起きなくても歯みがきをするようにしたい。 ・ 歯の非常用のものがこんなにたくさんあることを知らなかったから、非常用の荷物に入れて使いたい。 ・ 家に非常食や水は用意していたけれど、歯ブラシや液体歯みがきは入れていなかったから入れたい。 ・ 災害時に歯ブラシを忘れても、ノンアルコールのウェットティッシュや布などを準備しておけば、お口のケアができることと、歯を大事にしないと誤嚥性肺炎などの命に関わる病気になってしまうかもしれないことが分かった。	
課 題 ・ 子どもの感想に「家では防災の準備をしていない」「歯ブラシを入れていなかった」とあるように、家庭ごとの備えの現状にはばらつきがあるため、学年便り等で学習したことを保護者へ伝えたり、継続的に働きかけをしたりする必要がある。 ・ 今回は少量の水での歯みがき体験が中心だったため、完全に水や歯ブラシがない状況での歯みがきシートを活用した口腔ケアも体験する機会を作りたい。また、耳の下やあごの下をマッサージしたり、「あ・い・う・べ」と口を大きく動かしたりするだ液の分泌法は、日常的に行っていくことで定着を図りたい。	

【授業実践振り返りカード】 8月

学校名	富士見小学校	学年	5 学年
授業者氏名	千野 孝幸		
題材名	「8020 運動を推進し、保育園・幼稚園未満の子をもつ保護者に歯の大切さを伝えよう」		
主 眼<フォーマット>	〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。		
主 眼	保育園・幼稚園未満の子をもつ保護者に向けたパンフレットやプレゼンづくりを行った子ども達が、養護教諭からもらった資料の改善点やアドバイスに着目し、正しい言葉遣いや見てもらえる人に伝わりやすい字体やイラスト、全体のバランスを見直すことを通して、より自分たちの伝えたいことが伝わりやすい資料を作成する力を培うことができる。		
学習材	（本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等） ・養護教諭の牛腸先生からのアドバイス ・各グループのプレゼン・パンフレットの資料		
成 果	・養護教諭からのアドバイスをもらったことで、どこをどう修正したらよいかの視点が明確になった。		
課 題	・パンフレットやプレゼン自体の基本的な構想の仕方（知識）が不足しているためより相手意識や目的を明確にしていきたい。		

【授業実践振り返りカード】 8月

学校名	富士見小学校	学年	6 学年
授業者氏名 森下 侑也			
題材名 「これから先、歯と口の健康を保つために」			
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。			
主 眼 今年度の学校生活で、歯と口の健康を保つためにどんな取り組みが重要か学習した子どもたちが、パタカラ体操やデンタルフロス、夕食後の歯磨きや手鏡磨きなどの必要性に改めて着目し、それぞれの効果や意義をクラス全体で再確認することを通して、自分なりの目標をもって継続していこうとする力を培うことができる。			
学習材 ・パタカラ体操の動画 ・自分が過去に書いたはみがき宣言			
成 果 ・子どもたちにパタカラ体操の効果について問いかけると、多くの児童がその効果を理解していた。また、どの取り組みも継続性が重要であることを再確認することができた。 ・以前一人一人が立てた、歯と口の健康を保つための目標（はみがき宣言）をもとに、自分の目標を川柳にして再確認することができた。			
課 題 ・1 週間に一度、自分の目標や学習したことに立ち返って、自分の取り組みをふり返る時間をとる必要がある。			